

日本応用地質学会東北支部 「平成7年度総会」開催報告

倉 持 隆

平成7年度日本応用地質学会東北支部による総会が下記の内容で開催されました。

協 賛：東北地質調査業協会

日 時：平成7年5月19日（金）

16：30～17：00

会 場：仙台ガーデンパレス

参加者：69名

総 会：日本応用地質学会東北支部の「平成7年度総会」は支部長北村先生の挨拶に始まり、日本応用地質学会会長小島先生の特別講演と続き、次いで総会議事が行われました。

特別講演は東京大学工学部地球システム工学科教授の小島圭二氏により、「地盤から見た阪神大震災——初期調査の印象とその後——」と題して、感心の高い、貴重かつ有意義なお話を聞く機会が得られました。

講演の内容は、

1. 地震動と地盤（振動特性）
2. 地盤の地形・破壊
3. 地盤の成立ちと地震
4. 地震後の調査・解析雑感

などと多岐に及び、話し手の話題

の豊富さと聞き手の感心の高さが同調し、予定時間を越えて議論されました。

講演はOHPあるいはスライドを用いて、エンジニアリングの目でフィールドを見、サイエンスの目で現象を捉えるという「応用地質の目」を強調され、次の内容などについて説明されました。

- ・地表、地下そして基盤の振動特性
- ・人工改変以前の地形区分と被害形態の関連性
- ・基礎工法、埋立地の造成法、地盤改良、斜面の保護工など人工の加え方と地震被害の特徴

講演の終わりに、広くシステムチックに事象を捉え、総合的な判断を下す目の重要性を強調されました。

平成7年度総会議事は、大村一夫氏を議長に選出し、

- ・平成6年度活動報告
- ・平成6年度会計報告
- ・平成7年度活動計画（案）

・平成7年度会計予算（案）

・役員人事

などが滞りなく承認され閉会となりました。

懇親会：仙台ガーデンパレスの別な会場で、42名の参加により盛大に懇親会が催されました。小島会長、北村支部長、田野副支部長を囲み、先の小島会長の講演への質問を混じえ、「日本応用地質学会の法人化」あるいは「平成7年度研究発表会」（平成7年10月4日～5日、仙台国際センター開

催）などを課題として、なごやかな雰囲気で行われ、田野副支部長の挨拶・乾杯でお開きとなりました。



総 会 議 事 報 告



北村支部長の開会挨拶



講演会の会場風景



東京大学工学部小島教授特別講演



田野副支部長の閉会挨拶